

第1回策定委員会の振り返り

	質問等の内容	回答	今後の対応等
前計画の概要及び評価等について	前計画における幹線道路網整備計画の進捗率に係る算出根拠	「延長37.80km」を100%とし、それぞれの割合	
	次期計画における「整備方針」の方向性について考えは。	本市のまちづくりにおいて目指すべき将来像を踏まえ、また、国や県の計画等との整合を図ったうえで、「整備方針」を定める。	第2回、第3回において検討
	道路は、「ひと」の動きや「まち」の配置と相まって機能するものとする。そのため、ターゲットや目標に応じた整備すべきネットワークを設定したうえで、次期計画の策定を進めること。	承認しました。	第2回、第3回において検討
	次期計画の策定に係る検討においては、県外等の広域的な動きも把握した方がよいと考える。また、周遊性の評価に係るエリア設定について、検討願いたい。	承認しました。	第2回、第3回において検討
	次期計画において、赤間駅等の拠点周辺の道路整備の方向性として、人を中心とした道路整備のあり方や浸水等の災害リスクを踏まえた道路整備のあり方、このような視点を踏まえ、次期計画の策定を進めること。	承認しました。	第2回、第3回において検討
	次期計画における、具体的な道路整備のあり方について、目指すべき道路像として、車道幅員、歩道幅員、自転車通行帯等の規格を道路断面として示すなど、分かりやすい表現を用いて策定を進めること。	承認しました。	第3回において検討
	次期計画では、分かりやすい表現となるように留意し、目指すべき道路像のイメージは示しておきたい。	承認しました。	第3回において検討
	次期計画では、高齢者や子どもたちが安全に通行できる道路整備について、検討すること。	承認しました。	第3回において検討
	次期計画では、道路整備と合わせて浸水等の災害リスクを踏まえた生活しやすい環境整備について、検討すること。	承認しました。	第3回において検討
道路網整備の方向性に係る考え方について	災害リスクを踏まえた道路網整備として、例えば、市内の救助や物資輸送の拠点、第一次・第二次救急医療機関等の拠点を結ぶ路線のあり方について考えること。	承認しました。	第2回において検討
	宗像市民の多くは、北九州都市圏や福岡都市圏へ通勤移動しており、最近では宮若市域への通勤等の交通量が増加していることから、市外周辺地域等への流動を踏まえた交通インフラのあり方について考えること。	承認しました。	第3回において検討
	コミュニティバスやオンデマンドバスに係る乗降場所の確保等、将来の公共交通のあり方を踏まえた道路整備について考えること。	承認しました。	第3回において検討
	人が集まれば混雑するものであることから、混雑解消は困難であると考え、混雑時間の短縮を図る観点をもって考えること。	承認しました。	第3回において検討
	市外周辺地域等との連絡という視点においては、東西軸の国道3号に加えて、高速10の軸について検討すること。	承認しました。	第2回において検討
	道路拡幅等のハード整備対策より、車輛台数（自家用車）を減らすため公共交通網等のソフト整備対策の方が効果的であるという考え方もある。 このような視点を踏まえ、次期道路網整備計画と地域公共交通計画との関係について、両計画の位置付けを整理するなどし、次期計画の役割を明確化すること。	承認しました。	第3回において検討
	水災害リスクを踏まえた道路整備の視点について、「雨に強いまちづくりビジョン」における長期的な目標を踏まえつつ、一方、浸水は毎年発生し得ることを考慮し、代替路線や迂回路等についての考え方を検討すること。	承認しました。	第2回、第3回において検討
	今後は車輛の運転をしない方々の視点も検討すること。	承認しました。	第3回において検討
	宗像市への観光来訪者に係る交通手段の大半は車輛という認識であるため、「観光振興」の視点では、企画や商品等のソフト施策を重視している状況である。 広義的な観点では、歩行者の安全性の確保に係る視点、特に通学路を含めた歩道整備について考えること。	承認しました。	第3回において検討
実態等調査に係る	歩行者の安全性の確保に係る基礎的データにおける全国的傾向として、高齢者の交通事故発生路線は「生活道路」に多いとされており、子ども同様の傾向と考えられる。そこで、交通事故等データを調査・分析のうえ生活道路に係る視点を検討すること。	費用を踏まえ、可能な範囲、対応。	第3回において検討
	自動車はもとより人流等の幅広いデータを活用した俯瞰的なデータ分析を行ったうえで、上位計画のニーズ等を重ね合わせた整備計画を検討すること。また、生活道路の交通事故について、福岡県警は幅員別・市町村別データは公表している。一方、地域等の詳細データの取得を検討すること。自動車だけに着目せず、様々な人流データ（携帯電話の位置情報データ等）を活用することも考えられる。	費用を踏まえ、可能な範囲、対応。	第2回、第3回において検討
	定点観測と併せて時系列比較を行う等の手法を検討すること。	費用を踏まえ、可能な範囲、対応。	第2回、第3回において検討
	俯瞰的なデータ分析によって宗像市の課題を整理することなど、データ分析について様々なご意見があった。それらを精査して、分析・検討すること。 例えば、都市構造の可視化ツールを活用する等、本委員会における議論・コミュニケーションがより促進されるよう、分かりやすい編集をお願いする。	費用を踏まえ、可能な範囲、対応。	第2回、第3回において検討